

神奈川県身体障害施設協会 卓上競技委員会
第45回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会

平成24年度 事業報告書

事業名称：神奈川県身体障害施設協会 第45回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会

目的：趣味を通して各施設利用者間の親睦を深めるとともに、施設相互の交流を図る。

後援：神奈川県、厚木市、神奈川県社会福祉協議会、厚木市社会福祉協議会
厚木市ボランティア連絡協議会、日本福祉囲碁協会

事業内容：

1. 日時：平成24年2月2日（土）9：30～15：30
2. 会場：神奈川県総合リハビリテーションセンター体育館 厚木市七沢516
3. 参加施設：26施設（神奈川ワークショップ、足柄療護園、湘南希望の郷、丹沢レジデンシャルホーム、秦野ワークセンター、アガペ壺番館、シャローム浦上台、水平線、れいんぼう川崎、よこはまりバーサイド泉、七沢更生ライトホーム、さがみ緑風園、太陽の門デイサービスセンター、ソーレ平塚、ソーレ平塚ケアセンター、リエゾン笠間、すこやか園、横浜技術センター、ノーマヴィラージュ聖風苑、上九沢デイサービスセンター、横浜らいず、貴峯荘、貴峯荘湘南の丘、海老名市立わかばケアセンター、パステルパレット、たっちほ도가や)
4. 選手数：150名
5. 競技種目：囲碁、連珠、将棋、挟み将棋、オセロ、ダブルスオセロ
6. 参加者、見学者総数：約300名
7. 参加費：選手1人につき1,000円
8. 参加記念品：クッキー（神奈川ワークショップ） 200円
ティッシュカバー（貴峯荘湘南の丘） 300円
合計 500円 170セット

9. 表彰：

個人の部…優勝、準優勝、第3位、敢闘賞を上記の競技種目について賞状、トロフィー
記念の盾を授与

団体の部…優勝、準優勝、第3位。各施設の勝ち点の獲得数について賞状、トロフィーの
授与

審判員特別賞…各施設の選手及び施設紹介ポスター最優秀賞として1施設にコーヒー紅茶の
詰め合わせ。

10. 運営ボランティア：競技審判として日本福祉囲碁協会、厚木シニア将棋クラブ。賞状書きとして若草書道会の方々にご協力頂いた。

11. 事業結果：

- ・インフルエンザ発症で参加が危ぶまれる施設もありましたが、なんとか大会当日には無事に参加することが出来、今大会は不戦勝の数も少なかったです。しかし、遅刻の選手が数人あり、対戦の選手を待たせてしまう場面もみられました。

- ・ 今回も体育館のご厚意により、喫煙所を設けて下さり、→の案内も貼り、わかりやすくした。
- ・ 個人対戦カードや結果報告の紙を用意したことにより、競技をスムーズに進めることが出来た。
- ・ 表彰状、領収書、対戦カードなど、全て予備を用意して、間違えても良いように準備した。
- ・ 各選手に貼る名前シールを用意して、選手名がわかりやすいようにした。
- ・ 各施設に、あらかじめ昼食時のテーブル NO を割り振ったため、テーブルの争奪戦をする混乱は無かった。
- ・ 表彰状授与の時、3名体制で表彰状、カップ、盾、筒を渡したため、筒の渡し忘れなども無かった。
- ・ 事前にオセロの駒の数のチェックを行ったため、駒が足りなくなるということも無かった。
- ・ 参加施設が年々増えてきて、プラカードの数が足りなくなったため、今大会は施設のプラカードは使わない方法で行った。
- ・ 神奈川県からの補助金が出なくなったが、調整し予算内でまかなうことが出来た。

1 2. 次年度への課題・反省点

<全体の課題・反省点>

- ・ 昼食時の各施設の使用テーブルの割り振りを行ったが、テーブルの総数が足りなく、各施設に狭い思いをさせてしまった。
- ・ 前日準備で、トーナメント表を貼る作業だけが遅くなってしまったため、その担当者も明確に決めれば良かった。
- ・ 連珠の競技名に（五目並べ）とつけた方がわかりやすいのでは。
- ・ 一回戦においての遅刻のペナルティーを明確にしておいた方が良い。
- ・ 体育館内のテーブルの各競技の見取り図は、大きく印刷して、受付の所などに貼りだした方がわかりやすい。

<各担当からの課題・反省点>

【囲碁】

- ・ 差し棒を使う選手で、示す場所が明確でない方があり、そのような方に関しては付添いの介助の方が必要であった。

【連珠】

- ・ ルールの明確さが必要（飛び3の3-3はコールするのか？ 試合開始前に駒を25個ずつ用意しておく。）など。

【将棋】

- ・ 手や差し棒が使えない選手のために、盤の周りに数字で指し示すもの（選手は数字で3-6の歩とか言って示すもの）をいくつか用意した方が良い。

【オセロ】

- ・ 観客の反応で選手に指し手のヒントを与えてしまうため周りの観客への注意が必要。
- ・ 回転式盤等を使う方は事前に許可を申請した方が良い。

【ダブルスオセロ】

- ・ 進行上、午後にかけて4連戦させてしまったチームがあった。（休憩が必要）

【団体得点集計】

- ・ トーナメント表を見に来る利用者さんがあるため、もう少しカップを置くテーブルとのスペースが広い方が良かった。
- ・ 得点のシールの色は単色だけの方が良かった。
- ・ トーナメント表に書き込む、もっと太いマジックがあった方が良かった。
- ・ 対戦結果表を入れる、専用の箱があった方が良かった。
- ・ 得点方法の見直しが必要（2位が8点と3位が決定戦の勝ち点が加算されるため、7点になり、差が1点しかないのはいかがなものか？）

【駐車場】

- ・ 駐車場の案内図を事前に各施設のドライバー用に配った方がわかりやすかった。

【ボランティア】

- ・ 貴重品は各自が持って、控室の鍵は空けておいた方が便利だった。
- ・ 控室に置いてあった実行委員の荷物はあらかじめ整理して、ボランティアさんたちが、使いやすいようにしておいた方がよい。

1 3. 次年度の予定日

- ・ 第一回委員会予定日…平成 25 年 6 月 18 日（火）
- ・ 大会開催予定日…平成 26 年 2 月 8 日（土）

委員会実施日：

第1回卓上競技委員会	平成24年	7月24日（火）	リエゾン笠間
第2回卓上競技委員会	平成24年10月	9日（火）	リエゾン笠間
第3回卓上競技委員会	平成25年	1月8日（火）	七沢更生ライトホーム
第4回卓上競技委員会	平成25年	2月1日（金）	七沢更生ライトホーム
第5回卓上競技委員会	平成25年	3月5日（火）	リエゾン笠間

平成25年3月15日
身障協卓上競技委員会

委員長 小林 浩一
事務局 西村 達幸
及川 勇太

第45回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会成績表

(個人の部)

	優勝	準優勝	3位	敢闘賞
囲碁	中川 正昭 シヤローム浦上台	金森 明 水平線	二葉 英華 湘南希望の郷	湯川 みさと 秦野ワークセンター
連珠	郡司 和徳 丹沢シズンシヤルホーム	齋藤 萌男 さがみ緑風園	木暮 信一 アガベ吉番館	岡嶋 正浩 ハスチルバレット
将棋	千葉 徳雄 七沢更生ライトホーム	樽角 好昭 太陽の門デイサービスセンター	森田 孝一 ハスチルバレット	猪俣 留吉 湘南希望の郷
はさみ将棋	佐藤 一明 アガベ吉番館	高瀬 義和 ソーレ平塚ケアセンター	君嶋 喜代蔵 太陽の門デイサービスセンター	西沢 敦志 神奈川ワークシヨツプ
オセロ	小嶋 由紀 ソーレ平塚	国枝 孝次 横浜技術センター	松留 芳郎 貴峯荘 湘南の丘	熊坂 竜孝 アガベ吉番館
Wオセロ	鈴木 祐二 秦野ワークセンター	杉原 修一 貴峯荘	岩崎 正典 湘南希望の郷	堤 篤弘 シヤローム浦上台

(団体の部)

	施設名
優勝	アガベ吉番館
準優勝	太陽の門デイサービスセンター
3位	湘南希望の郷

(審判員特別賞)

最優秀施設紹介ポスター	上九沢身体障害者デイサービスセンター
-------------	--------------------

第45回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会決算

収入の部

項目	決算額	摘要
大会参加費	150,000	1,000円×150名
助成金	30,000	神奈川県社会福祉協議会
助成金	80,000	身体障害施設協会
合計	260,000	

支出の部

項目	決算額	摘要
入賞賞品代	48,200	楯、賞状、筒代、審判員特別賞(コーヒー紅茶詰め合わせ)
参加賞	85,000	500円×170(参加者、ボランティア)
プログラム代	37,338	トーナメント表印刷含む
ボラ昼食・お茶代	7,774	500円×13、98円×13
通信費	10,670	プログラム発送及び申請書・依頼書切手代
大会用品代	16,777	オセロ盤4台・参加賞袋
雑費	3,234	文具、事務消耗品、振込手数料等
残金	51,007	神奈川県身体障害者施設協会へ返却
合計	260,000	

原本と相違ないことを証明します

平成25年3月15日

神奈川県身体障害施設協会
会長 松永 徹